



# 柏ビレジ・ニュース



1995年12月15日

## 田中地区市民運動会を終えて

実行委員長 海藤 勝行



秋晴れの好天に恵まれ、第三十四回田中地区市民運動会が十月一日(日)、自治会の皆様を始め各町会の方々に多数ご参加頂き近來稀に見る盛況のもと、滞りなく終了する事が出来ました。運動会の結果は過去連戦連勝を誇るムカデチームの熟年パワーの炸裂、今回初参加の女子五十メートルチームの大活躍、恒例の合宿を延期して参加いただいたテニス愛好会の皆様、更に自治会の超若手メンバーで構成される子供会の協力を得て、二十町会中六位とまずまずの成績をおさめる事が出来ました。慣れない仕事を任された立場の卒直な感想ですが、「我がビレジの選手が活躍する姿を目の前で見られ久しぶりに身体中の血が逆流するような感激を味わえた事」又、「参加頂いた方々の楽しそうな顔を見られた事」等、お手伝い出来てよかったと自己満足している次第です。さて、三十四回を無事終えた運動会



発足の謂れですが、当時は昭和三十一年から始まった神武景氣の影響で「銀行よさよなら、証券よ今日は」と言う言葉が巷に溢れ、日本経済が急速に飛躍した時期でもありました。(三十六年は大鵬・柏戸が同時に横綱昇進)当時の柏市長が東京のベッドタウンとして発展しつつ、ある柏の将来を見据え、新旧住民のコミュニケーションの場として考えられたと伺っております。今回の盛況ぶりをみるにつけ「ふれあいの輪を広げ、友情を深め、ふるさとなにか」を住民自ら作り上げるの精神は脈々と受け継がれていると思われまます。柏ビレジの自治会は、当行事に参加して十二年余りではありますが、諸先輩の努力もあり、今では田中地区の一員として確固たる地盤を固めるに至っております。世代は日々変わりつつあり、近い内には新旧住民の垣根もはずされ、我々が故郷を心の拠所と思うように



次の世代が柏ビレジを「我がふるさと」と誇りを持って受け継いで行く為にも、この様なコミュニケーションの場を大切に守り育てて行きたいと痛感しております。そのためにも、ご参加いただける方々の輪を是非とも広げていく必要があると思えます。次回の運動会には「競技に参加するもよし、又酒を酌み交しながら応援するもよし」会場に足を運んでいただき、地元の方々と交流をはかってほしいと願っております。最後に今回の運動会開催にあたり、貴重な時間を割いてご協力頂いた役員並びに、競技参加者の皆様を始め、裏方に廻り野趣溢れる料理をご提供頂いた役員OB会の皆様に今後とも協力いただければ幸いです。心より御礼申し上げます。

街路樹が秋色に染まる中第十回文化祭が開催されました。

盆栽、手芸、編物、絵画、写真、書道、和紙絵、生花、七宝、デコパージュ、鍛金、押絵、アート盆栽、油絵、ヨーロッパアンボンレース等、皆様の想い通りの力作が数多く展示され、御来場頂いた方の目を楽しませて頂きました。

日曜日に行なわれた舞台では、詩吟、コーラス、お琴等、出演者の成果が、充分に発揮された素晴らしいものでした。

又、司会で舞台を盛り上げて下さいました五支部の森美智子様、この場をお借りして、お礼を申し上げます。

又、会場に設けられたお茶席では、ガールスカウトとお世話役の奥山様、海藤様他七名の方に、立てて頂いたお茶とお菓子を大勢のお客様に召し上って頂き、とても好評でした。

今回の文化祭が、大成功に終わりましたのも、ひとえに皆様の御協力の賜と、感謝しております。

このような催しを通じて皆様方と共に、柏ビレジが更に豊かな街になりますように願っております。

### 文化祭の展示品と

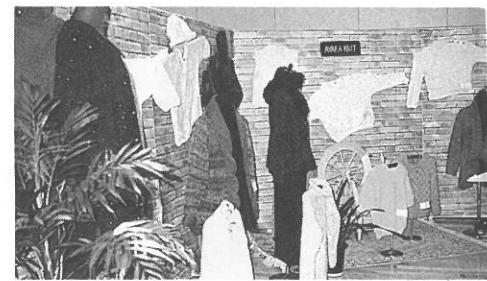
#### 出演者のお名前

- 盆栽 磯田 正八  
他十二名

- 油絵 奥田ときえ
- 水彩画 阿部 育子
- 手芸 梅津メルヤ
- 模型 霜鳥 晃
- 写真 戸崎 巖
- 絵 戸崎 昭子
- 大沢 礼子
- 藤井 靖子
- 矢戸 弓雄
- 石山 亨
- 生花、フラワーデザイン 鳥羽々善子

## 文化祭を振り返って

実行委員長 新庄 由美子



- 鍛金・七宝 服部 澄子
- 和紙絵 足立 ヤエ
- 和紙絵 磯田 千枝
- 書道 鳥居 菊蔵
- 柏翠書院 十三名
- マクラメ 志賀 美幸
- 書道 小西 滋子
- 小学生四十五名
- 書道 山崎 玲子
- 絵画・書道 陳 貴平
- 絵画 野瀬田日出生
- 編物 蔵 彩夏
- 他二十五名
- 絵画・油絵 杜本 崇男
- 押絵・アート盆栽 石塚 操子
- デコパージュ 渡辺千佳子他五名
- ヨーロッパアンボンレース 赤井 玲子
- 点訳 小西 滋子
- 詩吟 五十嵐敏夫
- 服部 和子
- コーラス 笹谷 雅子
- プリムラエコール 他二十七名
- 琴演奏 浦田 洋子
- 近藤 迪子
- 白石 澄江

以上街区順に掲載致しました



## 柏ビレジ餅つき大会のお知らせ

とき：平成8年1月14日(日)  
じかん：午前11時～午後2時(予定)  
ところ：柏ビレジ近隣公園

当日は、おはし・お皿をもって来て下さい。



# お知らせ

## 三菱銀行 北柏出張所 営業時間延長 について

かねてより営業時間の延長をお願いしていたところ、ATMの稼働時間が次の通り延長されることとなりました。

●現在の稼働時間  
◇月曜～土曜日

九時三〇分～一六時  
●延長後の稼働時間  
◇月曜～金曜日  
九時三〇分～一六時三〇分  
（終了を三〇分延長）  
◇土曜日  
九時三〇分～一六時  
（変更なし）  
◇実施日 平成七年十二月二〇日から

## 江戸坂下への カーブミラー 設置

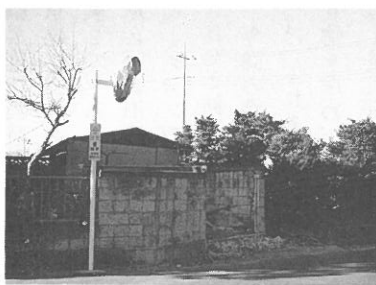
かねてから柏市交通安全協会に設置を要請していましたがカーブミラーが江戸坂下に設置されましたのでお知らせします。

この坂は、小学生の通学路になっておりますので、坂を降りる車は一時停止を励行してくださるようお願いいたします。



## 第二バス停への 電話ボックス 設置

第二バス停をご利用の方は既にお気づきかと思いますが、かねてから要望していましたが電話が第二バス停に設置されましたのでお知らせします。ぜひご利用ください。



## 図書室だより

ベストセラーや話題の本を貸出しています。

- 『聖なる予言』
- 『イチロー物語』
- 『二度目の大往生』
- 『心のおもむくままに』
- 『ワイルド・スワン』
- 『日本人のメンタル・トレーニング』など

## 一月のお知らせ

### 「ちびっこ集まれ」

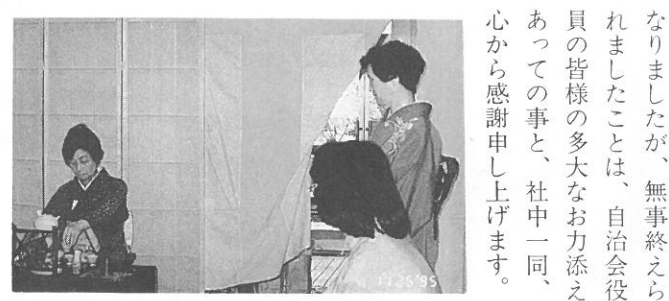
一月十四日(日) 午後一時～三時  
ビレジ近隣センター和室

図書ボランティア

## 煎茶点前を紹介して

### 海藤翠 啓

時折、お知り合いの方よりお煎茶のお点前を見せて下さいとの声があり、機会がありましたらと思っていたところ、柏ビレジ文化祭が開催されることを伺い実行委員長の新庄様に相談しましたところ、是非に！との快きご返事を下さり、思い切って席を設けさせて頂きました。何分にもこの様な会場での点前は初めての事、諸々懸念はありましたが、一同知恵をしばり会場に合うような準備を心掛け、稽古にと励みました。俄か仕立の略礼の席ですので思う様には出来ませんでした。何とかそれなりの形になれたように思います。

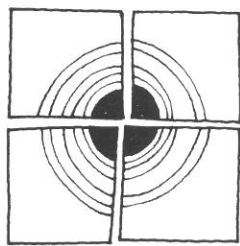


点前でした。注がれるお茶の量があまりにも少ないのでお客様は内心びっくりなさった事と思えますが、文字通り、玉の露なのです。お茶は喫するもの、まず味、丸みを帯びて口中に広がってゆく緑の香気を感じ取っていただくものなのです。私共としましては、美味しいお茶を供することが出来たかどうか、心中どきどきでしたが、七十余名のお客様がお入り下さり、一様に美味いとの嬉しい答えを頂き、一同心より安堵いたしました次第です。末筆に

## チャリテイバザー びみつのフキン

チャリテイバザーに御協力ありがとうございました。今回初めての試みでしたが文化祭のフリーマーケットの時間をお借りして、びみつのフキン、茶渋やティーポットの汚れ、牛乳を飲んだ後のグラスの曇り……等、洗剤では落ちにくい汚れが、簡単に落ちるフキンを会場で作成し、三百円で販売致しました。小学生の子供達も色が彩かかったせいか、ワァ、キレイ!! と鉤針を手に手伝ってくれました。

蔵 彩夏



今回の点前は玉露の角盆。おかげ様で、収益金一万円を市の福祉課に寄付することが出来ました。彩ニッ

## お料理 コーナー

毎日寒い日が続いていますが、今日は、体が暖まる料理を一品紹介致します。夕食にどうぞ作ってみてはいかがでしょう。

### 禿蕪の含め煮

大きなかぶを形作り、菊の花に見たてた物です。かぶは葉を切り落して丸くむく。まず上部にV字形の切り込みを十文字に入れる。十文字の間々に十文

- 材料
- かぶ 八個
  - 煮汁 塩 小さじ1
  - みりん 大さじ4
  - だし汁 カップ2
- 山崎

## お料理 一口メモ

◆その一  
お正月に、煮物が残って困った事はありませんか。そんな時は、煮物を冷蔵庫に数日入れておき、半分位の大きさに切り、天ぷらの衣をつけて揚げます。何もつけずにそのまま召し上がれます。いつもの天ぷらとは、一味違って、残り物とは思えない程美味しく頂けます。

### ◆その二

塩味がきつかったり、脂の多い鰯等の干物に困った事はありませんか。そんな

時に重宝するのが『マヨネーズ』です。意外?と思われがちですが、味がマイルドになります。又、これからの季節、お正月に残ってしまった鯛の身をほぐし、大根のせん切りと、マヨネーズで和えるだけで、少しお酒落な一品の出来上りです。

新庄

謹しんでご冥福をお祈り申し上げます  
八木 文子様 七十一才

一〇六街区一五  
八木節男氏の奥様  
告別式 十一月一日